

京都女子大学

POINT

- 1 授業の研究課題に活用し学生の情報リテラシーが向上
- 2 身に付けた情報収集力をインターンシップや就活にも活用
- 3 図書館とデータベースの利用促進にキジケンが貢献



2006年に日経BP記事検索サービス(キジケン)女子大版を導入し、利用拡大に伴い大学版に移行した京都女子大学。キジケンの活用方法について、現代社会学部現代社会学科教授の西尾先生とゼミ生の皆さん、図書館 図書課の瀬尾さん、田原さんにお話を伺いました。

Q キジケンを授業に活用する目的を教えてください。



教授

学生に、世の中にある情報をどう活用するといいかを学んでもらうことが最大の目的です。インターネット上には様々な情報があふれていますが、不確かな情報がとても多く、思考の根拠にはなりません。必要なのはより確かな情報で、それを見極める目を育てたいと考えています。

キジケンは日経BP社の豊富な雑誌のコンテンツを手軽に検索して情報収集できる手段として、最初に利用を薦めています。

Q 授業ではどのようにキジケンを利用されていますか？



教授

2年生が履修する、経営学概論、組織マネジメント論の授業では、企業や業界を調査してまとめるという課題を与えています。学生は自分の身の回りの商品は知っていても、企業やその属する業界についての知識がありません。まず、企業や業界を知るためにキジケンの情報を使うように指導しています。

3年生が履修するマーケティング論では、具体的な商品の事例を調べるような課題を与えます。売れている商品は何か、売れるとはどういうことかを、根拠のある情報をもとに客観的に分析させることで、確かな情報を入手し、活用する力を身に付けてもらいたいと考えます。



【学生の皆さんに聞きました】



学生A

授業を受ける前は、うわさ程度の情報も信用していました。授業でキジケンの記事や企業のアニュアルレポートを参照する方法を知り、何が確かな情報なのかを意識するようになりました。



学生B

今までは、ネットにある情報をもとに、レポートを提出していました。大学ではキジケンが利用できることを知り、今では確かな情報を活用する習慣が身に付きました。検索した記事をもとにして自分の意見が正しいのかどうかを検証しています。



学生C

キジケンは「確かな情報を入手できる」印象です。PDFで図版やイラストも含めて、雑誌と同じイメージで見られる点も便利なところです。またテキストデータのコピーが可能なので、ゼミの研究でよく利用しています。

裏面へ続きます▶

確かな情報の入手方法を“植え付ける”ことが重要

現代社会学部 現代社会学科教授 西尾 久美子氏(中央)とゼミ生の皆さん





教授

キジケンを推奨する前は、レポートの質があまり高くなかったのも事実です。適切なデータベースから情報を入手すること、将来の生き方や働き方を考えるときに根拠を持って判断できるようになることを学ぶことに、キジケンは大きく貢献していると感じています。



Q キジケンを利用し始めてから、どのような変化がありましたか？



教授

きちんとした情報をもとに企業研究をするようになって、学生の就職先に広がりが出てきたと感じています。データベースを活用できることが就職活動にも役立つことを、もっと学生に働きかけていきたいと考えています。



学生D

インターンシップに応募するときもキジケンで企業情報を調べました。今後の就職活動でも、志望先を選んだり、エントリーシートを書いたりするときに積極的に活用したいと思います。

図書館での活用方法

キジケンは 図書館やデータベース活用の推進力に！

図書館では、授業の中で図書館利用ガイダンスを年間120回ほど実施しています。毎年約2000人がキジケンをはじめとしたデータベースの使い方などを学んでいます。

学生は自発的にデータベースを使うことはまずなく、授業やレポートなどで触れて初めて便利さを理解します。そのため図書館では教員と連携しながら、データベースの授業での活用を推進しています。今後は、進路・就職課とタイアップして、キジケンで就職先の企業研究などに役立てる方法も検討しています。また本学ではVPNを導入し、学外からもキジケン等を使えるようにしています。学外で使えるVPNは便利ですが、一方で図書館にも足を運んでほしいというジレンマがあるのも事実です。

そうした中で、図書館では学生のボランティア活動(図書活)を中心に、学生と図書館の距離を縮めています。学生が来館者にレファレンスを行うほか、学生が学生目線で本を選ぶ「選書ツアー」などのイベントも実施しています。こうした図書活メンバーの活躍により、VPNなどの導入で便利になっても学生が足を運びなくなる図書館を目指しています。

瀬尾 浩 図書課長 と 田原 明子 図書課係長



ここも CHECK!



VPNの導入でいつでもどこでもアクセス可能に！

京都女子大学はVPN(Virtual Private Network)を導入して、自宅など学外のパソコンから学内のネットワークに接続できるしくみを整えています。時間や場所を問わずアクセスでき、キジケン等の利便性が一層向上しています。



京都女子大学

2013年5月1日現在

- 創立 1910年創立
- 所在地 京都市東山区今熊野北日吉町35
- 学部 文学部/発達教育学部/家政学部
現代社会学部/法学部
- 学生数 6,137名

